

<産科>

4月1日より済生会三条病院（以下三条病院）での産科診療機能が当院へ移転します。三条病院で分娩予約されていた妊婦さんは、当院で引き続き妊婦健診・分娩・1ヶ月健診などを行ないます。移転準備で一旦休止していましたが助産師外来や他のサービスなども診療体制が安定してから再開の予定ですが、時期は未定です。

当院で対応可能なハイリスク妊娠の範囲は三条病院と同程度であり、担当医の判断によっては高次施設への転院が必要になります。骨盤位（逆子）、帝王切開や子宮筋腫核出などの子宮手術既往のある妊娠、双胎妊娠（二羊膜性に限る）は原則として選択帝王切開での分娩となります。当院にはNICU機能はありませんので、妊娠35週未満で早産となりそうな場合、妊娠37週以降でも当院小児科で管理できない胎児の合併症が見つかった場合はNICUのある高次施設への転院が必要です。出生後の新生児の状態・病状によって転院が必要となることもあります。

県央地域の婦人科クリニックで妊婦健診を行ない、分娩は当院で行なう病診連携も行なっています。当院と各クリニックとの取り決めにより、妊娠診断後にクリニックより分娩予定日や妊娠分娩歴、合併症などの妊娠情報がFAXで当院に送信されます。その後に顔見せ妊婦健診に当院を1回受診していただきます。その後はクリニックで健診を行ない、34週頃より当院での健診となります。このようなシステムになっているのは、クリニックの診療時間外の妊娠異常時に当院で対応できるようにするためです。三条で既に病診連携を開始されていた場合は再度の顔見せ健診は不要です。

県央地域以外の新潟県内・県外からの里帰り分娩をご希望される場合には事前の受診は必要ではありません。ただし当院で対応困難なハイリスク妊娠が里帰り後に判明した場合には急な転院が必要となりますので、合併症やリスクの高い妊娠異常がある場合には事前に健診施設の担当医よりFAX等での情報提供や里帰り可能かの問い合わせをお願いします。

妊娠・分娩には予想外の多量出血で緊急の輸血が必要になることがあります。対応が遅れないように血液型などの情報を電子カルテ上に保存するため、他院で血液型を検査済みでも改めて当院で検査いたします。検査費用負担が生じますがご了承ください。今回は機能移転を伴うため、非常に申し訳ございませんが三条病院で健診を行っていた妊婦さんも検査させていただきます。

当院は原則予約制ですが、妊娠中の産科的異常（つわり・出血・腹痛や腹緊感・胎動異常など）については予約が無くても受診していただけます。病状や受診時間によってはER部門で初期対応となることがあります。

妊婦健診開始前の妊娠初期の診療は婦人科にて行ないます。

<婦人科>

当院の診療は原則紹介制となっておりますが、2024年3月までの三条病院通院中に病状や経過によって当院での婦人科診療継続を指示された患者さん、また医師の指示で定期的もしくは必要時に婦人科診療（診察・検査・処方・注射など）を受けられていました患者さんの中で当院での婦人科診療継続をご希望される方は、紹介状が無くても当院婦人科を受診していただけます。ただし三条病院のカルテ内容を事前に参照する必要があるため、受診予約をお願いします。初回の受診時には初診料が算定されます。当院婦人科と三条病院婦人科を交互に受診する場合は紹介状が必要となります。

三条病院の婦人科に受診されたことがあっても担当医より終診を告げられていた場合、自治体の子宮癌検診やドックでの健診を今後は受けるように指示されていた場合、子宮癌検診のみの場合、病状や担当医の判断によっては選定療養費負担の対象になることがあります。婦人科以外の疾患や臓器の異常で当院他科の受診を希望される場合も近隣医療施設からの紹介状が必要になります。

当院の婦人科診療範囲は原則として良性疾患となります。

各種検査で悪性腫瘍や境界悪性腫瘍が強く疑われる場合は、悪性腫瘍に対応できる専門施設を紹介いたします。子宮頸部上皮内癌は当院で治療可能です。良性腫瘍であっても病状・年齢・合併症によっては高次施設をお勧めする場合があります。

手術は病状や年齢、リスクに応じて腹腔鏡下手術・開腹手術・腔式手術・子宮鏡下手術などを選択します。他院では行われていても当院では採用していない術式もあり、ご希望される場合は実施設を紹介します。

当院では生殖補助医療（いわゆる不妊治療）は行なっていません。ただし不妊治療専門施設からの依頼での注射や検査はお受けいたします。当院通院中の方で不妊症の検査が必要となった場合は一部の検査や治療は可能ですが、本格的な治療は不妊治療専門施設をお勧めします。

当院は原則予約制のため、薬が足りなくなった・都合で予約日に受診できなくなったなどの場合でも予約外の受診ができないことがあります。ただし病状や症状によっては診察が必要だったり、治療薬によっては服用中断できない場合もありますので、お問い合わせいただいております。

<外来診療>

当科では常勤医 3 人・非常勤医 5 人（うち 2 人は隔週）で外来診療を行ないます。担当医の都合によっては急な休診・代診となることがあります。

<分娩>

時間帯や曜日によって担当医が交代します。非常勤医が担当することもあります。

<手術>

産科手術・婦人科手術ともに病状・リスク・各医師の経験数などから入院担当医や執刀医を決定するため、術前の外来での担当医とは異なることがあります。また時間外の緊急時には非常勤医の執刀となることもあります。

<当院産科婦人科への紹介受診の予約につきまして>

早急に受診していただくため、婦人科外来は担当医指定ではなく予約枠の空いている順での予約を原則としています。